**3 その他の確率分布**

**問題１**

　2項分布の説明は62ページに、χ2分布の説明は64ページに、ｔ分布の説明は65ページに記述してある。

　**解答**　③

**問題２**

付表２は、ｔ分布の上側確率に対するｔ値を示している。この問題は、両側確率として0.05が与えられているので、付表２を使用する場合は、上側確率0.025に対応する値を利用することになる。

**解答**　③

**問題３**

ｔ分布の両側確率を求めるExcel関数は、T.ＤIST.2T()である。

　自由度19、t=2.09　であるから、 =T.DIST.2T(2.09、19)　をExcelのシートに記入することで求めることができる。

**解答**　0.0503